

## Game Report

開催場所：日本経済大学

試合区分：第 25 回全九州大学バスケットボールリーグ戦

試合期日：2018 年 9 月 22 日(土)

試合時間：10：00～ CC：伊藤 彰二 FU：森田 将史 SU：山口 勝真

東海大学九州	● 83	17	—1st—	18	○ 90	福岡教育大学
		19	—2nd—	23		
		16	—3rd—	16		
		31	—4th—	33		

### 第1ピリオド

東海大#28脇山のインサイドプレイから始まった第一ピリオド。序盤両チーム点の取り合いが続く。福教大は全員が積極的にドライブで攻め立てる。対する東海大は#6山下の3Pシュートが決まり流れにのるかと思われたが、ここから両チーム点が入らない我慢の時間が続く。残り1：19、福教大が前半1回目のタイムアウトを請求。タイムアウト後、福教大は#9竹内の連続得点が決まり逆転に成功する。17-18福教大リードで第1ピリオドを終える。

### 第2ピリオド

前半の勢いそのままにいきたい福教大であったが、東海大が得意の早い展開のバスケットでリズムを作る。中盤、福教大は#16塚本が積極的にリバウンドに飛び込み、セカンドチャンスを実際にものにす。福教大の堅い守りに東海大はミスが続く。福教大は#14田添の連続得点で点差を9点まで広げる。流れを変えたい東海大は残り45秒、前半2回目のタイムアウトを請求。タイムアウト後、東海大#18松岡の3Pシュートが連続で決まり36-41、福教大リードで前半を終えた。

### 第3ピリオド

福教大#13宮本のシュートで始まった第3ピリオド。前半、福教大は#13宮本の連続得点、更には#10森川の3Pシュートが決まり、点差を12点差まで広げる。このまま流れに乗るかに思われたが、東海大はここから怒濤の追い上げをみせる。東海大は#18松岡のプレイが光る。積極的なドライブで得点するとリバウンドでも貢献しチームに勢いをもたす。更には#7竹原のドライブも決まり52-57、点差を縮め勝負は最終ピリオドへ。

### 第4ピリオド

勝負の最終ピリオド。序盤、東海大は#18松岡の連続得点、更には#15久保山の3Pシュートで応戦する。対する福教大は#12森川の3Pシュート、#16塚本の体を張ったプレイで逆転を許さない。その後、両チーム点の取り合いが続く。流れを変えたい東海大はドライブで積極的にゴールに向かい点差を少しずつ詰めていく。終盤、東海大は#18松岡のドライブで点差を4点差まで詰めるも、この試合大活躍の福教大#13宮本のシュートが外れない。逆転を許さなかった福教大が83-90でリーグ戦2勝目をあげた。